

# 事業承継

京都中小企業事業継続・創生支援センターのサポートのもと事業承継に取り組んだ経営者にお話を伺います。

取材



取締役会長 坪田 忠男 氏

募集開始から短期間で信頼できる後継者が見付き、  
マッチングから1年半で事業承継が実現

## 得意先との信頼関係を支えに 事業を拡大

当社は1984(昭和59)年創業の石材店です。墓石・石碑建立から参道工事までを手掛けており、事業の柱は墓石建立。図面は手書きで起こすため、一つとして同じデザインの墓石はありません。自社で墓石制作の施設・設備を有し、自社で墓石設置工事を行っていることも当社の大きな特徴です。

一番大切にしてきたのは、寺院をはじめ得意先と強固な信頼関係を構築することです。事業拡大が叶い、臨済宗相国寺派総本山、相国寺御用達の看板を掲げる現在があるのは、コミュニケーションを積み重ねてきた賜物だと感じています。

## 当初の計画よりもスピーディな事業承継が実現

事業承継について考え始めたのは、2018(平成30)年です。承継可能な人材は不在ながら、この会社を存続させたいとの思いから京都産業21に相談をし、後継者募集企業として、事業継続支援のポータルサイトにて公開しました。そのわずか3か月後に後継希望者から応募があり、京都産業21の立ち会いのもと顔合わせを実施。信用できる人物だと感じたことから、彼を後継者とすることに決めました。

当初は3年後の事業承継を目指していましたが、実際には約1年半後、2020(令和2)年7月に代表者変更を完了できました。「任せられる」という確信を得ても、物事を進める際には慎

## 株式会社 石材 都

重になるもの。見守る覚悟をし、スムーズにバトンタッチできたのは、京都産業21が双方の考えに耳を傾け橋渡し役を担ってくれたからこそだと思っています。

今後も、すべてを彼に背負わせるのではなく、必要に応じて相談・分担していければと考えています。その中で守りだけに徹するのではなく、人脈を広げ、新たな道を切り拓きながら歴史を紡いでほしい。彼の活躍で「京都で一番の石屋」と言ってもらえる日が来ることを、楽しみにしています。



同社が設計・施工を手掛けた相国寺の合祀墓



## 後継者の思い

代表取締役 吉田 健次 氏

経営していた通信関連会社の将来性が見込めず次なる道を模索しているとき、後継者問題について知り、調べたところ京都産業21のポータルサイトにたどりつきました。事業承継については坪田会長も私も未経験でしたので、道筋をつけてくださったコーディネータの方の存在は大きかったですし、専門家派遣制度により、公認会計士の方から事業承継の手順をご指導いただけて大変助かりました。今後も、「何でも話せる存在」として坪田会長から多くのことを学び、伝統を受け継ぎながら、さらなる飛躍を目指したいと思います。

## Company Data

- 代表取締役 / 吉田 健次
- 所在地 / 京都市北区小山北玄以町24番地
- 電話 / 075-491-4114
- 創業 / 1988(昭和63)年5月
- 事業内容 / 墓石・石碑建立、参道工事



●お問い合わせ先 / (公財)京都産業21 京都中小企業事業継続・創生支援センター TEL: 075-315-8897 E-mail: keizoku@ki21.jp

オムロン株式会社



人を感ずる。未来を思う。

Innovation for Generating Values

オムロン

OMRON